

Leçon 3 ユリがテオの店を訪れます。

Théo: Vous aimez les gâteaux?

Yuri: Oui, j'adore. Qu'est-ce que c'est?

Théo: Ce sont des macarons. 

Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Vocabulaire

- aimez < aimer ~ が好き
- gâteau (gâteaux 複) (男) お菓子、ケーキ
- adore < adorer ~ が大好き
- Qu'est-ce que c'est? それは何ですか？
- ce sont ... それらは ~ です
- macaron (男) マカロン

Leçon 3 ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (1) 名詞の性

名詞には文法上の性があり, 男性か女性かのどちらかです。

男性名詞

père 父

livre 本

女性名詞

mère 母

table 机 

Leçon 3 ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (2) 名詞の数

原則として単数形に**-s**をつけると複数形になります。

livre livres 

Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (3) 冠詞

不定冠詞と定冠詞があり、関係する名詞の性と数に応じて形が変わります。

		不定冠詞	定冠詞
単 数	男性	un livre	le livre
	女性	une table	la table
複 数	男性	des livres	les livres
	女性	des tables	les tables



Leçon 3 ユリがテオの店を訪れます。

Attention エリズィオン

le, la, jeなどは次に母音で始まる語が来ると-e, -aが落ちl', j'となります。

l'avion (男 飛行機)

l'école (女 学校)

j'aime

Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (3) 冠詞

用法 不定冠詞

限定されていない名詞の前につきます

C'est **un** livre. それは本です。

C'est **une** montre. それは腕時計です。 

Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (3) 冠詞

用法 定冠詞

(1) 限定された名詞の前につきます

C'est **le** livre de Paul. それはポールの本です。

C'est **la** montre de Théo. それはテオの腕時計です。



Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Grammaire (3) 冠詞

用法 定冠詞

(2) 総称的意味(~ というもの)

J'aime **les*** chiens. 私は犬が好きです。

Il aime **la*** musique. 彼は音楽が好きです。 

Leçon 3 ユリがテオの店を訪れます。

Attention

「～が好きだ」と言うには < aimer + 定冠詞 + 名詞 > の形を用います。数えられる名詞には複数形、数えられない名詞には単数形の定冠詞をつけます。

Leçon 3

ユリがテオの店を訪れます。

Expression

Qu'est-ce que c'est?

これ(それ,あれ)は何ですか？

—C'est un stylo.

万年筆です。

—Ce sont des macarons.

マカロンです。

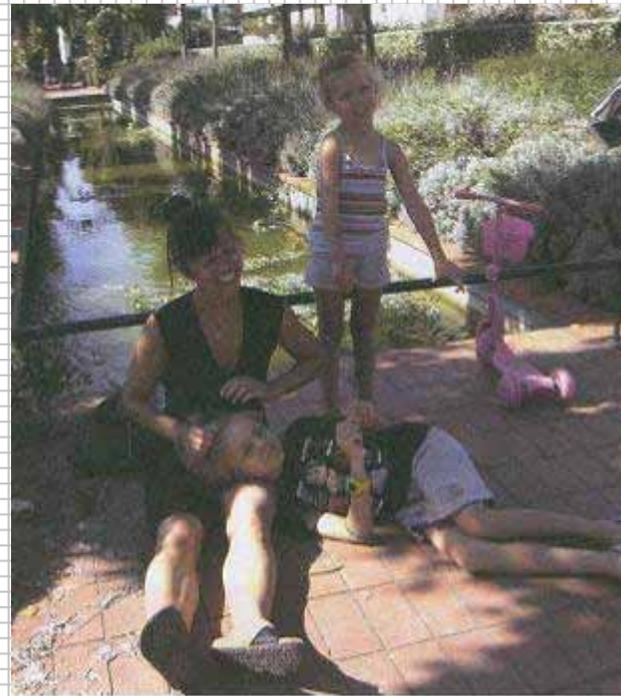
Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

家族

フランス人は伝統的に家族愛が強い国民です。家族との時間を大切にするので、仕事が終わると家にまっすぐ帰る人が大多数です。残業は管理職を除きほとんどしにません。子供がいる家庭では、父親も育児に積極的に参加します。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

食事

朝食: ウィークデイの朝食はとてもシンプルです。バゲットにバターやジャムを塗ったタルティーンと、カフェかカフェ・オ・レ。日曜日やちょっと特別な日の朝はクロワッサンを奮発したりします。

昼食: レストランやカフェのランチメニュー、サンドイッチ、ファーストフード、学生は学期中なら大学食堂などを利用します。帰宅して食べる人もいます。

夕食: 8時ごろから家族がそろって食卓に着きます。前菜、メインディッシュ、チーズ、デザートがスタンダードです。平日は簡単にパスタや冷凍食品も登場します。デザートは必ず食べるというフランス人が多いようです。週末は手かけた料理を楽しみます。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

食事に関する統計

- ・家計における食費の割合は減少している。(1960年には33%、現在は18%)
- ・フランス人の98%が平日に朝食を取る。朝食時に58%がコーヒーを飲む。
- ・地方の中・小都市では昼休みに自宅に戻って食事をする人が多く、フランス人の68%が自宅で昼食を取っている。
- ・フランス人の90%が通常平日は自宅で夕食を取る。夕食は8時前後に始まる。料理に砂糖を使わないので、デザートで甘いものを取る。
- ・フランス人の5人に1人が朝食時に、3人に1人が昼食時に、2人に1人が夕食時にテレビを見ている。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

結婚

結婚式: 日本では親戚の他に会社の上司や同僚を披露宴に招待することを先ず考えますが、フランスでは結婚式はプライベートなこととして、仕事とは切り離して考えます。親戚や友人達が中心になって新郎新婦を祝福します。

結婚祝いのプレゼントの仕方:

日本ではご祝儀としてよくお金を包みますが、フランスでは結婚する2人が専門店やデパートで前もって欲しい品物のリスト・ド・マリアージュを作成し、親類や友人たちは、そのリストの中から自分の予算に合った品物を選んで贈ります。なかなか合理的なシステムですね。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

結婚観

「愛のない結婚生活は意味がない」と考える人が多い。

・結婚年齢は一世代前より約5年遅くなっている。(2002年の平均では、男性が30.4歳、女性が28.3歳)

・3組に1組が離婚しており、パリなど首都圏ではその比率がずっと高い。

・ユニオン・リーブルが増えている。

・子供が数人生まれてから正式に結婚するカップルが多い。

・社会制度上、子供は親が正式に結婚していてもいなくても平等の権利を有する。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

La vie de Français

労働

フランス人の多くは、安定した生活をする収入を得たら、都会を離れて田舎に家を持ち、ゆったりと楽しく暮らせることを理想と考えています。

労働時間

ワークシェアリングをして雇用を創出するために週35時間労働が法律で定められましたが、さまざまな経済情勢により見直しを余儀なくされています。



©駿河台出版社

Leçon 3

フランス人の人生観

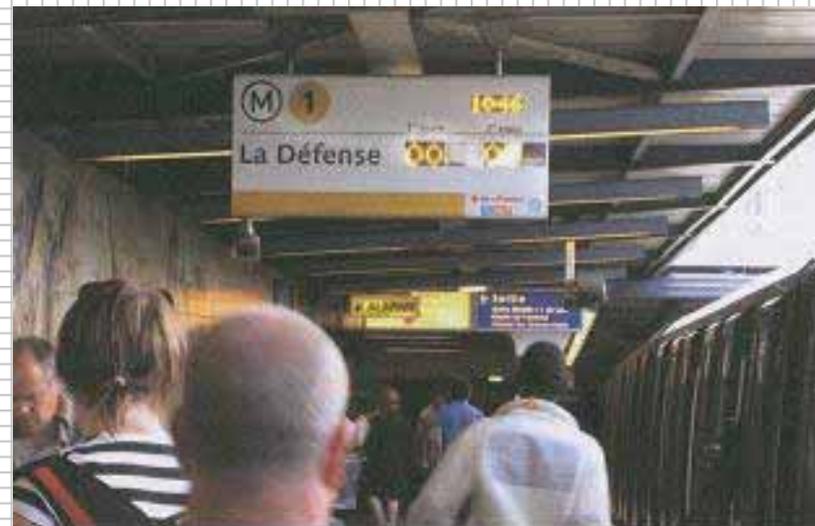
La vie de Français

長期休暇 (vacances)

1936年に初めて年2週間の有給休暇が法制化されて以来、次第に増えて現在は5週間になっています。夏に3週間、他の季節に2週間と分けてヴァカンスをとる人が多いようです。誰とどこでどのようにヴァカンスを過ごすかはフランス人の最大の関心事のひとつです。仕事や学業から離れ、それぞれのライフスタイルでリフレッシュを図っています。

しかしこの恩恵を受けているのはフランス国民の約6割で、残り4割はヴァカンスをとっていません。学業に忙しい学生や経済的に恵まれない人たちは出かけられません。

パリ市は夏にパリに残る人たちの為にセーヌ河岸に砂浜を作り開放しました。



©駿河台出版社

Leçon 3

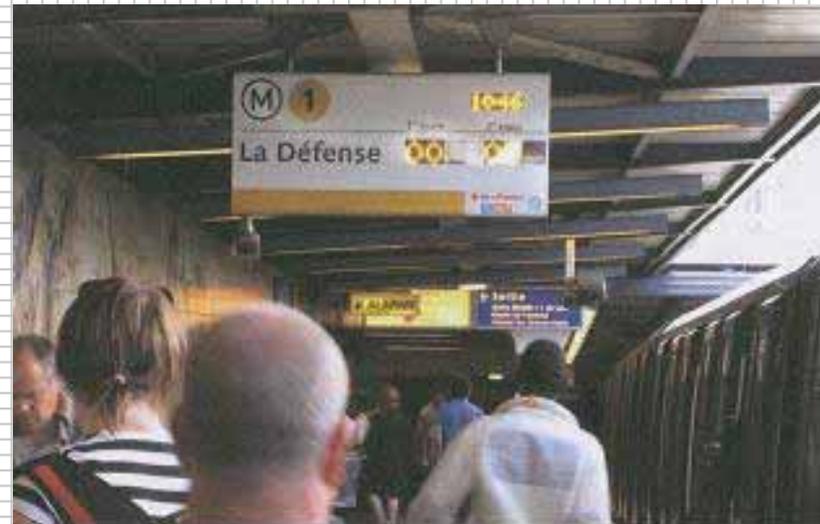
フランス人の人生観

La vie de Français

金銭感覚

・かつて金銭について人前で話したりすることにはよいイメージがありませんでした。しかし今日ではお金を稼ぐこと、それを夢見ることは共通の願望となっています。

・お金とは52%の人にとっては sécurité (安全、安心) を、24%の人にとっては liberté (自由) を意味しています。



©駿河台出版社